

## 第49回関西支部勉強会

### 「京都の図書館司書「ししょまろはん」がつくるオープンデータ」

日時 2015年2月2日(月) 18:00-20:00

場所 京都大学 吉田泉殿

ゲスト 是住久美子氏

京都府立図書館 資料課 特定資料担当

人数 12人

#### お話の詳細：

1. ししょまろはんは、京都府立図書館で働く図書館司書の職場内学習グループ。16名。2013年6月結成。
2. ししょまろはんは、京都が出てくる本のデータ、京都レファレンスマップなどのオープンデータをつくって公開している。すぐにハテナで取り上げられた。メディア（新聞、大阪ほんわかテレビなど）で取り上げられ始めたことから、職場内での認知度もアップ。
3. 「オープンデータ」とは機械判読に適したデータ形式で、二次利用可能な利用ルールで公開されたデータのこと。
  - ・PDF（☆） < EXCEL（☆☆） < XML/CSV（☆☆☆）  
< RDF（☆☆☆☆） < Linked-RDF（☆☆☆☆☆）
  - ・クリエイティブコモンズ
4. オープンデータに関する政府の動きは近年活発。
5. オープンデータの世界ランキングで日本は19位（2013年は27位）。1位はイギリス。アメリカは大統領令がある。
6. 自治体の動きは鈍い。全国的には福井県鯖江市が先進的に取り組んでいる。近畿では、大阪市が多くのデータを公開し始めた。神戸市が阪神・淡路大震災の写真データを公表。
7. 文化機関が持つ情報資源をオープン化する動きをOpen GLAMという。2013年にOpenGLAM JAPAN 設立。  
G: Gallery, L: Library, A: Archive, M: Museum  
京都府立総合資料館が2014 Library of the year を受賞。
8. 京都が出てくる本のデータは Google スプレッドシートで共同編集を行

## 関西支部勉強会レポート

い、LinkData.org のサイトで RDF 形式に変換し、同サイトで公開。タイトル、著者名、出版社、出版年、ISBN、カテゴリ、京都度、ししよまるオススメ度、心境、内容紹介（140文字）、緯度・経度、場所説明、Web NDL Authorities.

科学コミュニケーション研究会 関西支部有志  
第49回 記録・運営担当：加納 圭（滋賀大学/京都大学）